



しせいかん smile

思斉館中学部だより
令和8年9月30日
校長 家永 裕行

「ごめんね」が言える人に

始業式では、「ごめんねが言える人になろう」という話をしました。

新聞には、パワハラに関する記事が掲載されることがありますが、言った本人に悪気がなくても、相手は傷ついてしまうことがあります。「そんなつもりじゃなかった」「そんな意図はなかった」と思っている、相手がどう受け取ったかを考えることが大切です。

何気ない一言や冗談、SNS での言葉など、自分の言動を振り返ることは誰にとっても必要です。また、友達や先生から言葉遣いについて注意されたときは、自分を見つめ直し成長するチャンスでもあります。

相手の気持ちを考え、間違いに気づいたときには素直に認め、「ごめんね」と言える勇気をもつことで、みんなが安心して過ごせる思斉館をつくっていきましょう。

修学旅行 学びを深めた3日間（9年生）

9月16日から18日まで、9年生は鹿児島県・熊本県への修学旅行を実施しました。

初日は鹿児島市内で班別研修を行いました。仙巖園や維新ふるさと館などを訪れ、鹿児島の歴史や文化について学びました。

2日目は、知覧特攻平和会館の見学、コース別体験学習、桜島での活動を行いました。平和会館では、語り部の方から特攻の実情についてお話を伺いました。17歳になったばかりの若者が命を落とすこともあったことや、一日一日を大切に生きてほしいとの願いが語られ、生徒は真剣な表情で話に聞き入っていました。午後は砂むし風呂やお出汁体験をした後、桜島へ渡りました。間近に見る雄大な自然に、生徒たちは大きな感動を覚えていた様子でした。

最終日は熊本県のグリーンランドを訪れました。小雨が降る時間帯もありましたが、天気は大きく崩れることなく、生徒は食事やアトラクションを楽しみながら、親交を深めました。

この3日間、生徒は歴史や平和について学ぶとともに、仲間との絆を深めながら、貴重な時間を過ごしました。支えてくださった家族への感謝の気持ちを忘れず、今回の学びや経験をこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。

（生徒感想）

◇2日目は知覧で「特攻」について学び、改めて戦争というものの悲惨さ、残酷さを感じた。その他には、砂風呂や桜島に行き、鹿児島を満喫した。

◇3日間を通してたくさん学べたし、たくさん楽しむことができた修学旅行でした。また行きたいけど、たくさん学んだことを普段の生活の中で生かしていけたらいいなと思いました。



写真左から「班別研修で仙巖園を訪れたグループ」「班別研修のゴールとなるかごしま水族館でサメを見学する生徒」「初日の夕食の様子（カレーライスをおいしくいただきました）」「知覧特攻平和会館で語り部の方の話に耳を傾ける生徒」「砂むし会館にある顔出しパネルで記念撮影を楽しむ生徒」「グリーンランドのアトラクションを満喫する生徒」

職場体験学習（８年生）

９月１６日から１７日まで、８年生は職場体験学習を行いました。生徒たちは事前に受入先へ電話連絡や訪問を行い、準備を重ねて当日を迎えました。

体験先はコンビニエンスストアや飲食店、建設会社、美容室、保育園など多岐にわたり、生徒はさまざまな職種で実際の仕事を体験させていただきました。働く方々と直接関わる中で、仕事のやりがいや責任、礼儀やコミュニケーションの大切さについて学ぶことができました。また、地域には多くの仕事があり、地域の方々の支えによって私たちの生活が成り立っていることを実感する機会にもなりました。

お忙しい中、生徒を温かく受け入れ、ご指導いただいた事業所の皆様に心より感謝申し上げます。この貴重な経験を、今後の学校生活や将来の進路選択に生かしてくれることを期待しています。

（生徒感想）

◇普段では絶対にすることができない体験ができて、建設業にもっと興味がもてました。職場で学んできるとたくさんあって、誰とでも仲よく明るく会話をされていたところや、けじめをつけて仕事をされていたところ。自分も見習って生活したいです。

◇実際に働いている人を見て、（働くことは）お金を稼ぐだけでなく、人の役に立ったり、人を笑顔にしたりすることにもつながっていることに気づきました。実際に髪を切ってもらってうれしそうにしていたお客さんがいたとき、自分たちまでうれしくなって、頑張れる気持ちが上がったときもありました。

SDGs について学び、身近にできることを考えよう（７年生）

９月４日、７年生は SDGs について学習しました。講師の先生から、SDGs（持続可能な開発目標）は、気候変動や貧困、格差などの地球規模の課題を解決するための世界共通の目標であることや、「誰一人取り残さない」という基本理念について説明を受けました。



講師の先生は、写真や資料を使って SDGs について分かりやすく説明し、生徒たちに「SDGs アクション！～今日からできること～」を考えるよう呼びかけられました。また、世界の富が一部に集中している現状について、チョコレートを使って紹介し、分け合うことの大切さを伝えられました。生徒たちは多くの気づきや学びを得たようです。

（生徒感想）

◇私ができることは、エコバッグを使う、食べ物を捨てない、水を使いすぎないことだと思いました。今日、授業で習ったことを家族などに話して、もっと理解を深めていこうと思いました。

◇私はこの話を聞いて、誰も取り残さないためには、みんなが誰か一人を助けていくことが大切だと思う。みんなが協力したら、誰もが笑顔で過ごせると思いました。

いいね！思斉館

新学期が始まって間もない朝、校舎へ向かう並木道で、遠くから元気よく「おはようございます」と挨拶してくれた児童がいました。「先に挨拶してもらおうと気持ちがいいね。学年と名前を教えて」と声をかけると、「１年生の〇〇です」と笑顔で答えてくれました。そのおかげで、一日を気持ちよくスタートできました。

うれしくなり、すぐに小学部の先生にもお伝えしました。少し前の出来事ですが、すてきな挨拶をありがとう。